

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業(COC+R) 中間評価結果

COC+R 大学名	信州大学
事業名	地域基幹産業を再定義・創出する人材創出プログラム「ENGINE」

**【総括評価】**

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

**【コメント】**

<優れている点>

- ・三大学（信州大学、富山大学、金沢大学）すべてにおいて、「全学展開」を目指したプログラムの広がりがある。
- ・同窓会組織（アラムナイ）を巻き込み「循環」を創出することで地域企業や自治体等との連携・協働を促進し、事業の自走化を進めている。
- ・「交通」や「観光」などの地域基幹産業を担う人材を再定義し、育成を行うために企業調査に基づいて作成したルーブリック（成功の度合いを示す尺度と、それぞれのレベルに対応するパフォーマンスの特徴を示した評価基準表）を活用している。
- ・ルーブリック活用の一環であるフィードバックの仕組みが、学生の自己・他者理解を進めている。
- ・学生に、「仲間と共に成長する」自己を認識する機会と支援を提供している。
- ・地域内の共通課題である「地元就職率向上」に向けて、幹事校としてのリーダーシップを発揮し、「地元就職の因果モデル」構築を前進させている。